

令和8年度 児童養護施設等の高機能化・多機能化等人材育成研修 リーダー研修 開催要項

1 本研修事業の目的

児童養護施設等において、「できるだけ良好な家庭環境」の整備が求められており、その実現のためには、虐待による重度の愛着障害や発達障害を抱えた子供に適切に対応できる専門性の高い人材、施設の小規模化、地域分散化に対応できる人材の育成、施設の多機能化・機能転換への対応が求められています。児童養護施設等の職員を対象に、これらの社会的要望に対応できる人材育成のために研修を実施いたします。

対象者別に「新任研修」と「リーダー研修」の2種類があり、それぞれテーマ別に3科目の研修を実施します。

本研修は、事前・中間課題を除いて、3つの構成となっています。1日目は「学ぶ」を目的とし、研修テーマにおける基礎知識を習得します。2日目は「考える・気づく」を目的とし、事例検討等を通じ多様な意見に触れ、さらなる理解につなげます。そして「深める」を目的としたフォローアップ研修では、これまでの講義や現場での実践を振り返る場を設けます。受講生同士の対話や交流、さらには継続した関係性の構築を大きな目的の一つとしています。

(※社会的養護処遇改善加算対応研修ではありませんのでご注意ください)

2 対象および定員

児童養護施設、乳児院、ファミリーホーム、児童自立生活援助事業所(児童自立生活援助事業所Ⅲ型を除く。)、児童自立支援施設、母子生活支援施設、里親支援センター、社会的養護自立支援拠点事業所、妊産婦等生活援助事業所の職員で、リーダー職員またはリーダー候補の職員 各回 36名

3 参加費 無料

4 リーダー研修 科目一覧

(※赤枠内の科目が、今回募集する研修です。詳細は2ページ目以降をご参照ください。)

研修名	講師	募集時期	日程	研修形態	定員
リーダー研修① 支援力を高めるチーム作り	キャリアコンサルタント 永久 理恵 氏	3月上旬	1日目:6/26(金)	オンライン	36
			2日目:7/17(金)	オンライン	
			フォローアップ:10/16(金)	集合型	
リーダー研修② 子どもが安心できる施設づくり	明治大学 教授 加藤 尚子氏	8月中旬	1日目:11/20(金)	オンライン	36
			2日目:12/10(木)	オンライン	
			フォローアップ:2/26(金)	集合型	
リーダー研修③ 良質な支援のためのストレスマネジメント	ルーテル学院大学 教授 加藤 純 氏	7月中旬	1日目:10/22(木)	オンライン	36
			2日目:11/5(木)	オンライン	
			フォローアップ:2/5(金)	集合型	

5 各科目の募集および申込みについて

本研修は科目ごとに募集します。上記に記載された募集開始時期にご案内しますので、科目ごとにお申込みいただきますようお願い申し上げます。

子どもが安心できる施設づくり

～トラウマインフォームドアプローチの観点を取り入れた 子どもと職員を支えるチームと組織づくり～

1 ねらい

児童養護施設をはじめとする社会的養育を担う施設では、入所する子どもたちが抱える心理的被害の複雑化・深刻化に加え、施設の小規模化や高機能化が進む中で、リーダーに求められる役割はますます重要になっています。その一方で、職員の育成やチームマネジメント、多機関連携など、リーダーが担う責任や負担は大きく増大しています。また、虐待などの不適切な養育を経験した子どもたちは、トラウマをはじめとするさまざまな心理的課題を抱えています。こうした課題への理解や対応が十分でない場合、子どもの問題行動や支援の行き詰まりだけでなく、職員のバーンアウトやチーム内の対立などを引き起こし、施設全体の機能にも影響を及ぼすことがあります。

本研修では、トラウマインフォームドアプローチと職員支援の視点から、リーダーが日常の支援の中に潜む「トラブルの芽」に早期に気づき、子どもと職員の双方にとって安全・安心な環境を整えるための考え方と実践について学びます。また、チームケアの難しさや職員のバーンアウトへの対応など、管理的側面にとどまらないリーダーシップのあり方を考え、子どもと職員の双方にとって安全・安心な環境を基盤とした「安心できる施設づくり」を目指します。

2 到達目標

- ◆日常の中に潜むトラブルの芽に気づく視点を身につける
- ◆実際のトラブル発生時に適切に対応できるようになる
- ◆これらについて職員間で共有できるようになる

3 講 師 明治大学 文学部 教授 加藤 尚子 氏

4 日時・内容 ※全日程ご参加願います(研修形態がそれぞれ異なりますのでご注意ください)

	日 時	内 容(仮)	研修形態
事前課題 ①	10月8日(木) 締切	「社会的養育を取り巻く現状」についての動画視聴 (青山学院大学准教授 山本 真知子 氏) 視聴後、Google フォームにて設問に回答	収録型 WEB
事前課題 ②		研修テーマに関する設問に Google フォームにて回答	
1日目 (学ぶ)	11月20日(金) 14時～17時 (入室:13時30分～)	《講義・演習》 1 講義 ト라우マを受けた子どもへの支援 2 グループワーク	ライブ型 WEB
中間課題	1日目に講師より指示あり	1日目で学んだことを支援の場で試し、研修内容の理解を深める	
2日目 (考える・ 気づく)	12月10日(木) 10時～17時 (入室:9時30分～)	《講義・演習》 1 自分自身の強みを理解するグループワーク 2 子どもへのトラウマの影響を振り返るグループワーク 3 講義 支援者・組織へのトラウマの影響とトラウマインフォームドケア	ライブ型 WEB
ふりかえり シート	12月24日(木) 締切	研修で学んだことをふりかえり、自身の今後の課題を整理し、今後の目標を明らかにする	
フォロー アップ研修 (深める)	2月26日(金) 10時～17時 (受付:9時30分～)	《演習》 1 チームと組織へのトラウマの影響を振り返るグループワーク 2 施設・チームでの実践を検討するグループワーク	集合型 会場:東京都社会 福祉保健医療研修 センター

「フォローアップ研修」について

研修で学んだことを活かして支援する中で、新たに気づいたこと、困ったことなどをふりかえる場のため、2日目から期間を空けて実施します。また、受講生同士の対話や交流、さらには継続した関係性の構築を大きな目的とするため、集合型での実施となります。

5 申込み・受講決定

(1) 申込締切 **令和 8 年 9 月 10 日(木)**

(2) 申込方法

- ・各施設・事業所ごとに発行されている ID・パスワードで「けんとくん」にログインし、受講申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。
- ・研修のお申込み状況は、「けんとくん」ログイン後のマイページからご確認ください。
- ・「けんとくん」に団体登録がお済みでない事業所は下記の URL にアクセスし、「新規団体登録」をお願いします。ID、パスワードが発行されるまで、2～3 営業日かかる場合があります。申込締切日を勘案のうえ、手続きをお願いします。

(3) 受講決定

- ・**9 月 24 日(木)**以降、受講決定に関するご案内を登録アドレスへメールでお送りします。
(送信元:kentokun@shakyo-sys.jp)
- ・案内メールが届いたら、「けんとくん」にログインして「申し込み確認」の画面より受講決定通知もしくは、落選通知をダウンロードし、詳細をご確認ください。

6 ライブ型WEB研修受講にあたって

下記の項目について同意の上お申し込みいただいたとみなしますので、必ずご確認ください。

〈ご準備いただきたいもの〉

- ①インターネット通信環境(有線か良好なWi-Fi 環境)
- ②Zoom ミーティングが使用できるカメラ付きのパソコン等を一人につき1台(パソコンを推奨)
- ③マイク機能付きのヘッドフォンまたはイヤフォン

〈禁止事項〉

- ①研修内容の無断複製(録音、録画、キャプチャー等)及び他のWEBサイトや著作物等への転載等を固く禁じます。
- ②研修を受講するために使用するURL・パスワード等は、本研修受講決定者のみとし、お申込されていない方との共有は固く禁じます。

7 集合型研修受講にあたって

- 研修実施にあたり、複数の社会福祉施設等の従事者が集まることを考慮し、各自感染症防止にご配慮ください。
- マスクの着用は個人の判断を基本としますが、自身や家族等に症状がある場合などは着用をお願いします。
- 研修中は適時会場の換気を行いますので、ご了承ください。

♪受講者の声♪



トラウマに関する基礎的なことからしっかり学ぶことができ、かつ、トラウマについて様々なグループワークを通して意見交換をすることが出来て、自分にはなかった考えを学ぶことができました。

トラウマインフォームドケアに関しては、知識をつけた上で、普段関わりのある子どもで置き換えて考えたり、自分の過去や仕事上で感じたトラウマを書き出したりして、人の言動の理由や傾向を深く考えることができました。



【申込先・事務連絡先】

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京都福祉人材センター研修室 (升田・結城・高本・池田)
TEL:03-5800-3335
けんとくん URL:<https://www.kentokun.jp/>

けんとくん

